

一般社団法人日本社会福祉学会2016年度定時社員総会は、第64回春季大会当日の2016年5月29日(日)の10時から、立教大学池袋キャンパス11号館 AB01教室にて、岩崎晋也総務担当理事の司会により開催された。

議案はすべて承認され、11時10分に解散した。

I. 会長挨拶

一般社団法人日本社会福祉学会岩田正美会長より開会挨拶があった。

II. 定足数確認

岩崎晋也総務担当理事から、定足数 90 名に対して、現在の代議員出席者が 143 名（委任代議員 99 名を含む）となったことから、定款第 32 条に基づき、2016 年度定時社員総会を開催し、議事を進行するとの開会宣言があった。

なお、総会終了時点での出席代議員は 153 名（委任代議員 100 名を含む）であった。

III. 議事録署名人の選出について

定款第 37 条第 2 項に基づき、議事録署名人として小林良二監事、市川一宏監事を選出した。

IV. 議事

第 1 号議案 （一社）日本社会福祉学会 2015 年度事業報告・決算・監査報告について

議長から、本部事業、特別事業及び地域ブロック事業を含めた「2015 年度事業報告及び決算・監査報告」について審議していただきたいとの提案趣旨説明があった。

まず 2015 年度の事業報告について、岩崎晋也総務担当理事より配布資料に基づき報告があった。学術研究集会の開催、学会機関誌の刊行、研究奨励・研究業績の表彰、関連学術団体との連携、国際的な研究活動の推進の報告があった。また、学会の組織運営に関して、会員の動向、総会・理事会および運営委員会の開催、監査、選挙の実施、各種委員会の活動、各地域ブロックの活動状況について、順次報告があった。

引き続き、秋元美世財務担当理事より、2015 年度の学会本部事業、全国大会運営事業、出版事業、および各地域ブロックの財務状況を含めた決算報告について、配布資料に基づき報告があった。総額約 1,000 万円の黒字を計上したが、その内容は主に各地域ブロック会計の組み入れによるもの、第 63 回秋季大会の黒字によるものであることが報告された。昨年度と同様に、委員会費の予算と実績の乖離が大きかったため、次年度以降はより実績に沿った予算を作成するよう次期体制へ申し伝えたとの報告があった。

その後、市川一宏監事より学会業務及び経理に関わる監査報告があった。

審議の結果、（一社）日本社会福祉学会 2015 年度事業報告及び決算・監査報告が満場一致で承認された。

第2号議案 (一社) 日本社会福祉学会第5期役員承認について

議長からの趣旨説明に続いて、秋元美世選挙管理委員会担当理事より、定款第16条により本日の2016年度定時社員総会終結をもって任期が終了する第3期代議員の後任選出のために行われた、第4期代議員選挙の実施および結果について報告があった。

岩崎晋也総務担当理事より、定款第21条により本日の2016年度定時社員総会終結を以って任期満了となる第4期役員の後任選出のため、第4期代議員による第5期役員候補者選挙の実施、およびその結果について報告があった。さらに、選挙理事候補者による推薦理事候補者選出会議を開催し、推薦理事候補者6名が推薦された旨の報告があり、第5期役員候補者22名の氏名が紹介された。

議長より、第5期役員承認について審議していただきたいと提案があり、審議の結果、第5期役員が満場一致で承認された。

第3号議案 (一社) 2016年度事業計画及び当初予算について

議長からの趣旨説明に続いて、岩崎晋也総務担当理事より2016年度事業計画の説明があり、その内容に基づいて秋元美世財務担当理事より当初予算の説明があった。2015年度の事業を踏まえ、2016年度もそれに倣った事業計画および予算となっているが、実績に応じて多少の修正を行ったとの説明があった。

審議の結果、2016年度事業計画及び当初予算が満場一致で承認された。

V. 報告

1. 第4期代議員選挙について

第2号議案の際に報告済みである。

2. ロゴマークについて

湯澤直美広報担当理事より配布資料に基づき報告があった。さらに、募集期間や応募状況、選定したデザインのコンセプト等の詳細な説明があり、今後ロゴマークが幅広く活用されるよう使用規程等を整備し、学会ホームページに掲載することになった。

3. 次期役員体制について

岩崎晋也総務担当理事より次期役員体制の構想について報告があり、舞台前に集まった第5期役員がその役職とともに1人ずつ紹介された。

以 上

